

# 光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2017年4月号>

121号 2017.04.03 配信

花便りがきかれるようになり、こころも華やぐ季節となりました。

光葉同窓会は約1,400名の新会員を迎えました。

昭和女子大学は、2017年4月から、国際学部が開設され、生活科学部に食安全マネジメント学科、福祉社会学科に言語聴覚士（ST）養成コースが新設されました。

今年度もワーキングネットワーク委員会は、多くの情報をメールマガジンで配信してまいります。

## ■学園だより

- ・ 4月2日（日） **入学式** 大学院・大学合わせて新入生約1,500名が入学しました。
- ・ 5月1日（月） **創立記念式**（創立記念日 5月2日）

## ■同窓会だより

### ◆卒業一年目の会

3月11日に2016年度卒業の方を招いて茶話会を行いました。

社会人一年生の同窓生が6名参加、日文太田先生、心理木村先生やクラスメイトと久しぶりに再会し、おしゃべりが弾みました。

仕事に必要な資格取得にチャレンジしている方、先輩との世代ギャップに悩んでいる方、ひとつの仕事を任されて緊張している方、それぞれの職場でがんばっている様子でした。

卒業一年目の会は、参加した一年目の方々によって「若葉の会」という名前になりました。次回は、来年卒業2年目になる方と1年目の方とで、茶話会を予定しています。若い同窓生を応援していきましょう。（磯辺）

### ◆総会・東京ツアー

#### 第44回 光葉同窓会総会のご案内

日時 2017年5月21日（日） 10:00～14:00

会場 昭和女子大学 学園本部館 3階 大会議室

総会 第1部 総会

第2部 加藤澄江・馬場あき子 ―青春を語りあう―

女学校時代より、昭和学園で仲良くしていらした加藤澄江さんと馬場あき子さんに青春を語りあっていただきます。

第3部 懇親会

会費 3,000円

\*多数の恩師の方々をご招待しております。

\*皆さま、お誘いあわせのうえ、是非ご参加ください。

\*詳細は、4月発行の光葉同窓会報88号を掲載しています。

### 防衛省市ヶ谷台ツアーと大江戸探訪

1. ツアー日 2017年5月22日(月)
2. 集合場所・時間 東京駅日本橋口8時15分
3. コース 防衛省市ヶ谷台 → 昼食 → 十思公園 → 小津和紙史料館
4. 解散場所・時間 東京駅16時頃(予定)
5. 会費 7000円(貸切バス、昼食、保険代)
6. 申込方法 Fax: 03-3411-4066 又は E-mail: [dousoukai@swu.ac.jp](mailto:dousoukai@swu.ac.jp)  
光葉同窓会事務局
7. 申込締切日 2017年4月15日(土) 必着
8. 申込をされた方には、5月上旬に案内を送付します。  
\*詳細は、4月発行の光葉同窓会報88号を掲載しています。

## ■広げよう光の葉

中島 正子さん 文家政学部生活美学科 1972年卒 (埼玉県支部)

### 「ポトマック茶論 国際文化交流～生活の美学」

ワシントン在住時の1994年5月に楠郎先生より連絡を受け、同窓生の皆様をお迎えしました。白地に藤の花房の訪問着姿で胸をときめかしながらご接待したことがつい先日の様に思われます。学生時代、当時楠郎先生が大風呂敷だとの噂が流れ、私は真相を確かめに一人乗り込んで行きました。にこやかに迎えて下さった楠郎先生は私に「加納さん(旧姓)はこの学校じゃ物足りないでしょう」とおっしゃったので、嫌さず「大丈夫です。片足を昭和に突っ込んで、もう片足をコンパスの様にぐるりと一周していますので!」と答えたのを未だ忘れません。美学に籍を置きながら、ESSで英会話を学び「人生 片道旅行」というタイトルでスピーチコンテストに出場、日文で能楽堂に通い、科学科では杉田先生に頼み時々聴講、初教の小部屋でちゃっかりピアノ練習、そして昌子先生に卒論指導を受けながら、昭和祭の実行委員もしていました。

私は16歳の時初めてソ連の船バイカル号で洋行して以来、毎年夏休みを利用して海外へ。異文化体験とボランティアの始まりです。卒業後ユネスコで仕事をしていたが、癌の母の介護のため仕事を辞め、妹を先に嫁がせ、末の弟の大学合格後に、毎日新聞の事件記者と結婚しました。二人の娘たちを育てながら義父母の介護や祖母の世話が続き、そんな時はホッと一息ティータイム! 中島がワシントン支局長でまた渡米した時、私の「ポトマック茶論国際文化交流～生活の美学」が誕生したのです。主婦レベルの文化講演会、日本の家庭料理やお茶のデモンストレーション、聖書研究やワシントンナショナルギャラリーでのドーセントボランティア etc. 帰国後も文化交流や国内外からのホームステイ客を引き受けています。受けるより与えるほうが幸福であるの精神で、今年2月は埼玉支部長坂下さんと一緒にウィーン学友協会でもコーラス交流、3月も初教出の斉藤陽子さん主催の老人ホームでのコンサート参加と同窓生との輪を広げています。長年ポトマック茶論は家庭生活を中心に、昭和の精神と重ねて人と人との心の交流がベースなのです。ちょっと覗きにいらっしやいませんか? End